

広報しろね

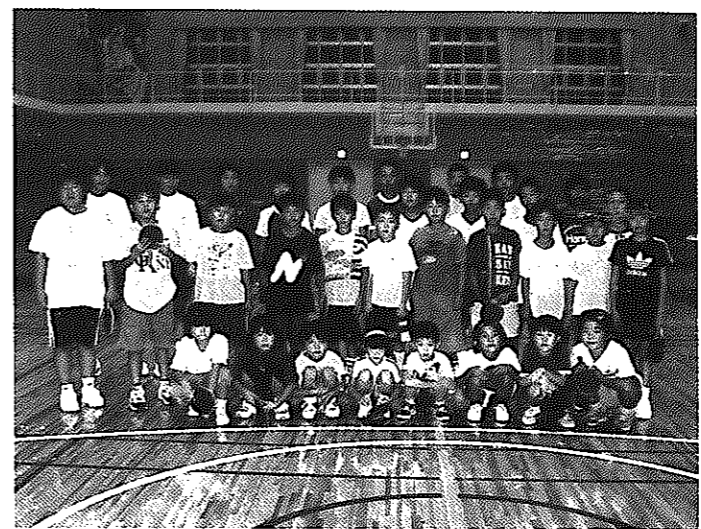
S·h·i·r·o·n·e

1999.10.15
No.556



決めろスマッシュ

白蓮卓球クラブ



平成7年4月に公民館活動の一環として発足。毎週月・金曜日は白井小学校体育館、水曜日は白蓮ふれあい館(旧戸石小学校体育館)を利用して、午後7時から9時まで、小・中学生35人が卓球の練習に励んでいます。

「スマッシュが決まったとき、とっても気持ちがいい。卓球の練習日が楽しみです」と子供たち。指導に当たる監督の上屋信雄さんは「熱中して打ち込む子供たちの姿が好きです。中学や高校でも卓球を続けて、活躍してほしいですね」と話します。

今年のクラブの成績は、長野県で行われた「全日本クラブ選手権(全国大会)」への出場や、柏崎市で行われた「東日本ブロック」でベスト8になるなど好成績を収めました。

代表の西脇博さんは「保護者も準備をしたり、球を拾ったり、みんな一緒になって運営しています。これからも、子供たちが一生懸命活動できる環境をつくっていききたい」と話しています。

※資源保護のため再生紙を使用しています。※紙上の記事・写真の無断転用を禁じます。

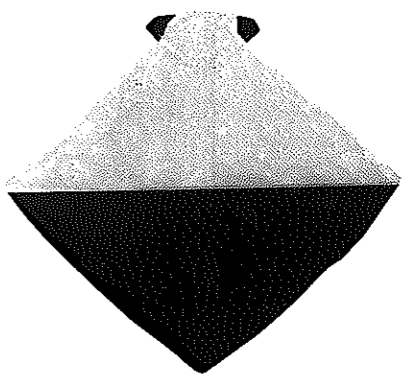
あなたも凧博士

文・田村和雄
(しろね大凧と歴史の館運営委員会委員長)

インディアン・ファイター(インド)

縦横一本ずつのシンフルな骨組み。同型の凧が、世界中に分布しているほどの名凧です。シーズンになると町の人家の屋根から凧を放ち、ガラス粉を塗った糸で切り合います。教え切れないほどの凧が空に舞い、戦いを繰り広げるのだといいます。ファイターと呼ばれるゆえんです。円筒型の糸巻きを的確に操作して、上下、左右、自在に操縦するのです。

イングランドでインドの名人の凧揚げを、間近に見る機会がありました。橋の上から揚げていました。糸を繰り出して川面すれすれにまで急降下させ、あわやという瞬間、素早く糸を巻き込んで急上昇。凧は鳥のように鋭く



舞っていました。鮮やかなお手並みに驚嘆させられたものです。

江戸時代の初期、南蛮船によって長崎に渡来して、旗となったといわれます。これが日本の各地にも広まって、地方色豊かな旗が生まれています。旗はインド語のバタン(凧)が転じたといわれています。

＝交通事故の発生件数＝

白根警察署管内	9月末現在
※()	は前年同期
発生件数	257件(230件)
死者数	3人(8人)
負傷者数	347人(274人)

編集ルーム

◎3回目となった市民祭「楽しもって秋まつり」。心配された雨もほとんど影響なく、大盛況でした。◎今回の目玉だったヘリコプターでの市内上空の遊覧を体験しました。上空からガラス越しに広がる白根の町。乗り心地は悪くないものでした。◎残念ながら、広報担当としてカメラのファインダーから景色をのぞいていたため、上空散歩を満喫とまではいきませんでした。(さ)

交通事故件数、増加の一途 交通マナーの再確認

市内のサークル・団体を紹介
市政クリップ(助役就任式ほか)
まちな話
お知らせ
みんなのページ
サークル通信
あなたも凧博士

